

# 国選定重要文化的景観 葛飾柴又の文化的景観整備計画



葛飾区教育委員会

令和4年6月

## はじめに

平成30年2月13日、「葛飾柴又の文化的景観」は日本を代表する景観地として国の重要文化的景観に選定されました。

葛飾区の柴又は、映画『男はつらいよ』の主人公寅さんのふるさととして全国にその名を知られています。帝釈天題経寺に続く参道には、草だんご、煎餅、川魚料理など江戸時代から続く名物の店が軒を連ね、近くを流れる江戸川には矢切の渡しがあり、加えて、柴又の鎮守である柴又八幡神社、古刹真勝院、かつての農村だった名残を残す旧家の佇まいや、田園から都市へ変化していった景観が周辺に広がっています。

この度の選定は、地域の人々の生活、歴史、風土等によって形づくられ、それらを現在に伝える葛飾柴又の景観が、「我が国民の生活又は生業の理解のために欠くことのできないもの」（文化財保護法第2条第1項第5号）として評価されたものです。

葛飾区教育委員会では、このような葛飾柴又の文化的景観の保存、活用を進めるために、令和4年度から10年間を計画期間とする『国選定重要文化的景観 葛飾柴又の文化的景観整備計画』を策定しました。本整備計画は令和3年度に策定された「葛飾区基本計画」に掲げる、文化財をはじめとする文化的資源を保護し、活用しながら、葛飾区の魅力を発掘し、磨き上げることで、歴史や文化の理解を深めつつふるさと葛飾を愛する心や誇りを育み、心豊かに暮せるまちづくりを目指すものです。

本整備計画では、区民と行政が一体となった葛飾柴又の文化的景観の保存・活用を推進することを目的として、多くの区民が郷土葛飾の歴史・文化への理解や愛着が深められるよう、整備活用の具体的な施策をまとめています。

本整備計画の策定にあたり、学識経験者、柴又地域の代表からなる、葛飾柴又の文化的景観保存・活用推進委員会において検討が行われ、文化庁や東京都教育庁からご指導を賜りました。また、ワークショップやアンケートの実施など地元柴又の方々から多大なる御協力をいただきました。この場を借りて皆様に改めて厚く御礼申し上げます。

今後は、本整備計画に基づき、葛飾柴又の景観を守り次の時代に引き継いでいくとともに、歴史と文化に根差した葛飾柴又の魅力を葛飾区の内外に発信するため、様々な事業に取り組んでまいります。

令和4年6月  
葛飾区教育委員会  
教育長 小花 高子



## 例 言

- 1 本書は、東京都葛飾区に所在する国重要文化的景観「葛飾柴又の文化的景観」の保存及び活用に関する整備計画を取りまとめたものである。
- 2 本書の作成は、平成30年度から令和3年度にかけて文化庁の国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金（文化財保護推進事業）として葛飾区が実施したものである。なお、令和元・2年度の個別ヒアリングを株式会社マヌ都市建築研究所に、令和2・3年度のワークショップ、アンケート等の支援業務を株式会社アネトス地域計画に、令和3年度は重要な構成要素整備活用方針シート編集を株式会社アーバンデザインコンサルタンツに委託した。
- 3 本書の構成及び編集は、文化庁と東京都の指導のもと「葛飾柴又の文化的景観保存・活用推進委員会」によって策定された素案を基に、事務局の葛飾区郷土と天文の博物館が取りまとめたものである。
- 4 本書は、巻末に資料編として、葛飾柴又の文化的景観保存・活用推進委員会及び同作業部会の名簿、個別ヒアリング、ワークショップ、アンケートの実施状況及び調査結果、文化的景観重要な構成要素一覧を付している。
- 5 本書の掲載図版の出典は、巻末に一覧表として記している。なお、表紙の「柴又 帝釋天 二天門」（個人蔵）は大正末期から昭和初期に撮影された絵葉書で、裏表紙のマークは、葛飾柴又の文化的景観のエンブレムである。
- 6 本書に付随して作成した「重要な構成要素整備活用方針シート」は、葛飾区教育委員会事務局生涯学習課で保管している。
- 7 本書作成にあたって、下記の方々からご協力を賜った。記して感謝申し上げたい（敬称略・順不同）。  
下間久美子 永井ふみ 青木達司 鈴木徳子 伊藤 毅 清水重敦 福井恒明 窪田亜矢  
初田香成 中尾俊介 小南弘季 高橋元貴 岩田会津  
文化庁文化財第二課 東京都教育庁地域教育支援部管理課 東京都建設局第五建設事務所 葛飾区  
帝釈天題経寺 柴又自治会 柴又神明会 柴又親商会 柴又中央会